

# 欧州景気概況(2022年7月)

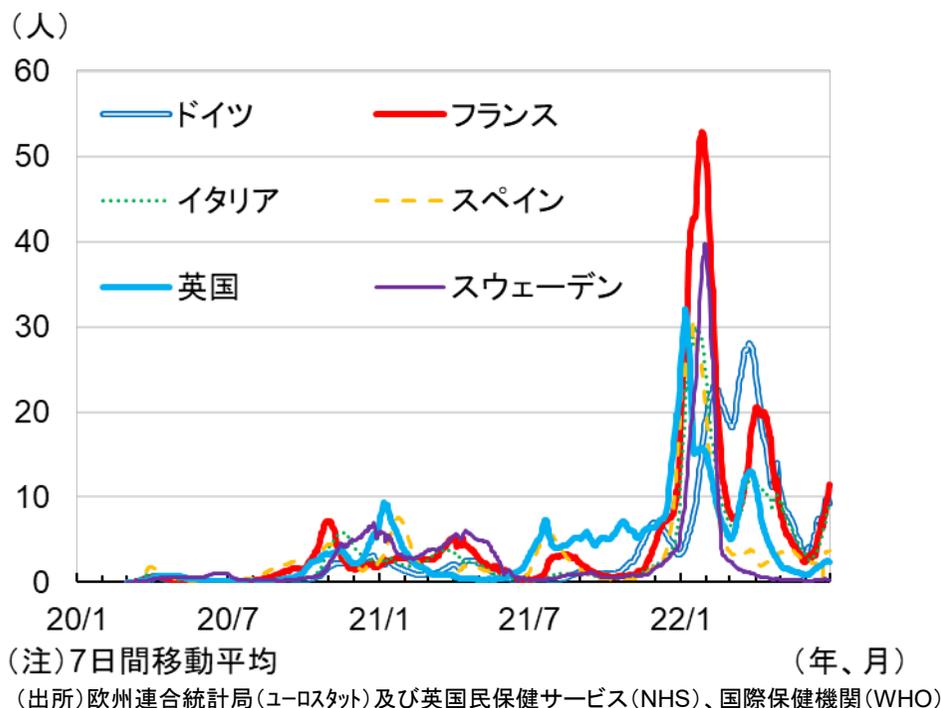
2022年7月4日

調査部 副主任研究員 土田陽介

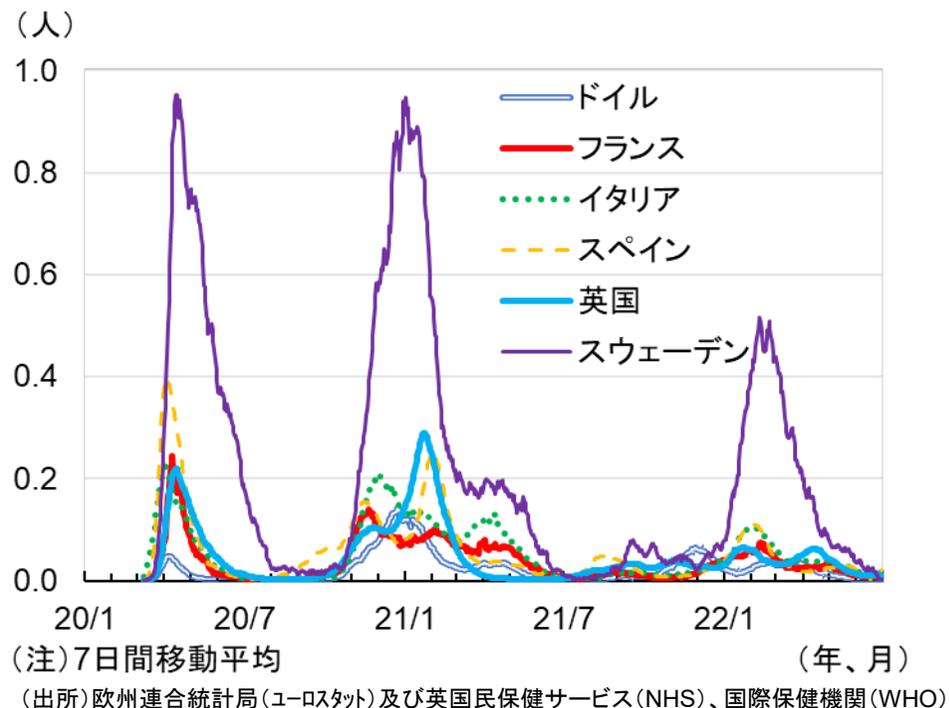
# 新型コロナウイルスの感染状況

欧州では新型コロナウイルスの新規感染者数が拡大傾向にあるが、死亡者数は減少が続いている。また各国とも行動制限を撤廃しており、景気への負荷は解消されている。

### 人口一人当たりの新規感染者数



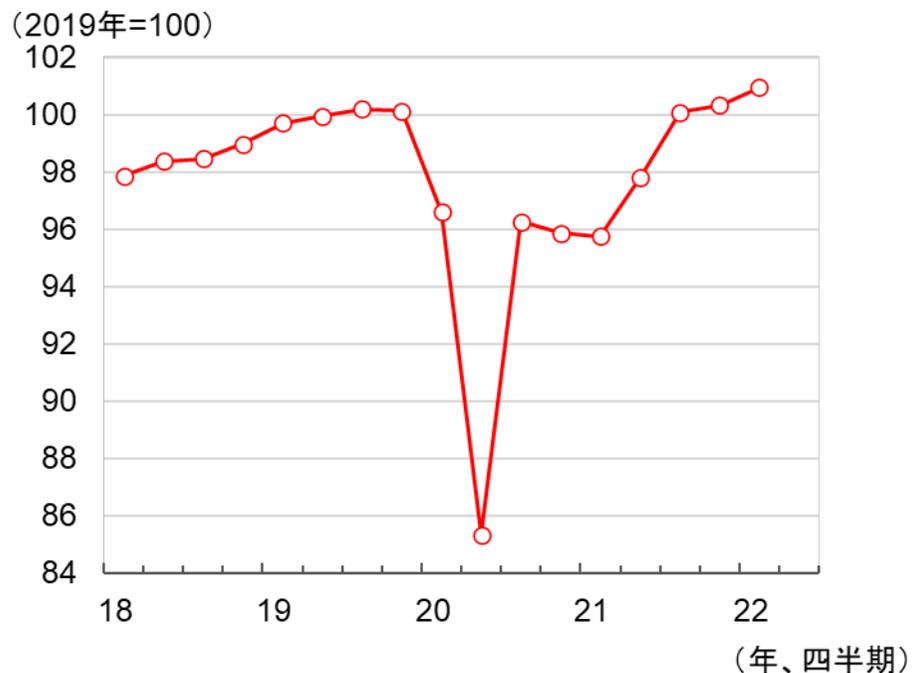
### 人口百万人当たりの新規死亡者数



## ユーロ圏景気概況① 景気は拡大している

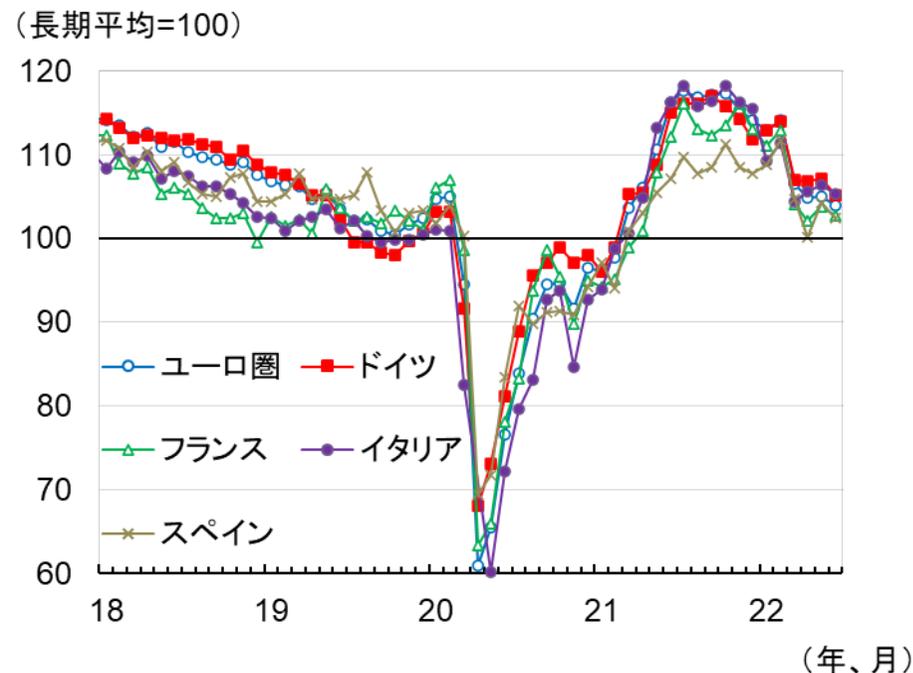
ユーロ圏の1-3月期の実質GDPは前期比+0.6%と昨年10-12月(同+0.2%)から増勢が加速した。総固定資本形成が景気の拡大をけん引したが、個人消費が2四半期連続で減少しており、景気の実勢は数値の印象ほど強くない模様。また6月の景況感指数は104.0と前月(105.0)から再び低下、均した動きは底這いとなっている。

### 実質GDP



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)

### 景況感指数



(出所) 欧州委員会ECFIN

## ユーロ圏景気概況② 生産は悪化

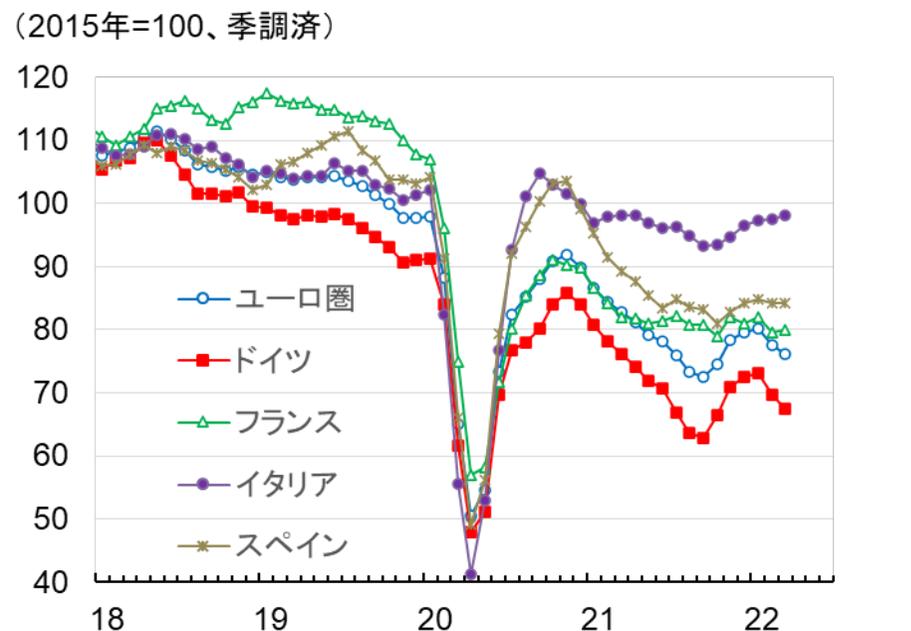
ユーロ圏の4月の鉱工業生産は前月比+0.4%と再び増加したが、均した動きは下向きである。ロシアのウクライナ侵攻に伴うサプライチェーンの混乱が生産を下押しした。また鉱工業生産ベースで見た自動車生産も、ドイツを中心に調整色を濃くしている。

### 鉱工業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ユーロスタット

### 自動車生産台数(鉱工業生産ベース)



(注) 3ヶ月後方移動平均  
(出所)ユーロスタット

## ユーロ圏景気概況③ 消費は悪化

ユーロ圏の4月の小売数量は前月比-1.3%と12月以来の減少に転じ、均した動きも下向きになった。翌5月の新車販売台数は前月比-0.3%の年率710万台と再び減少、均した動きも下向きが続く。インフレ加速を受けた消費マインドの悪化や、サプライチェーンの混乱の影響を受けた模様。

### 小売数量



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所) ユーロスタット

### 新車販売台数

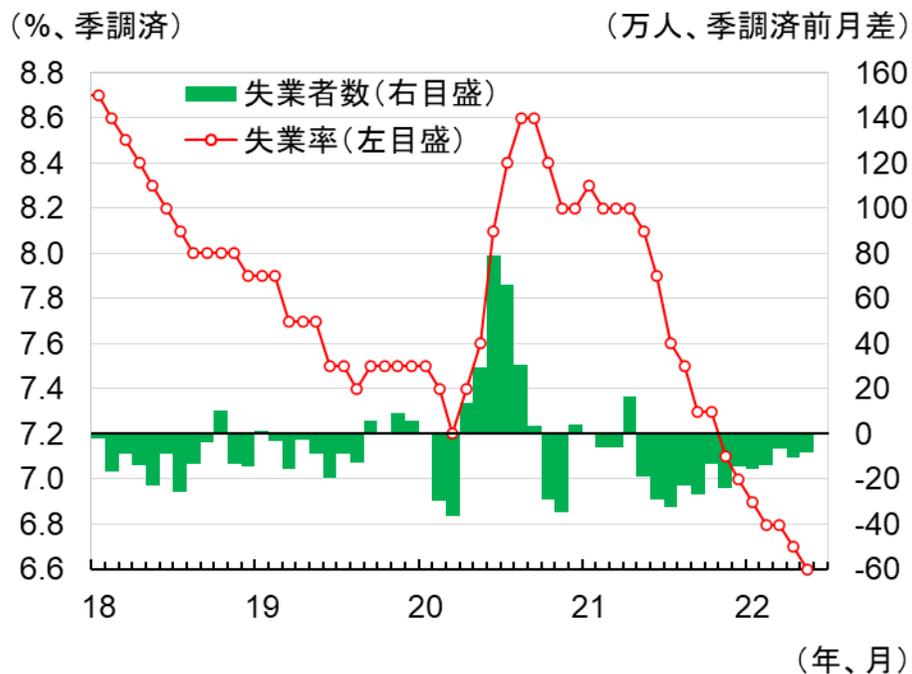


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所) 欧州中央銀行(ECB)

## ユーロ圏景気概況④ 雇用は改善

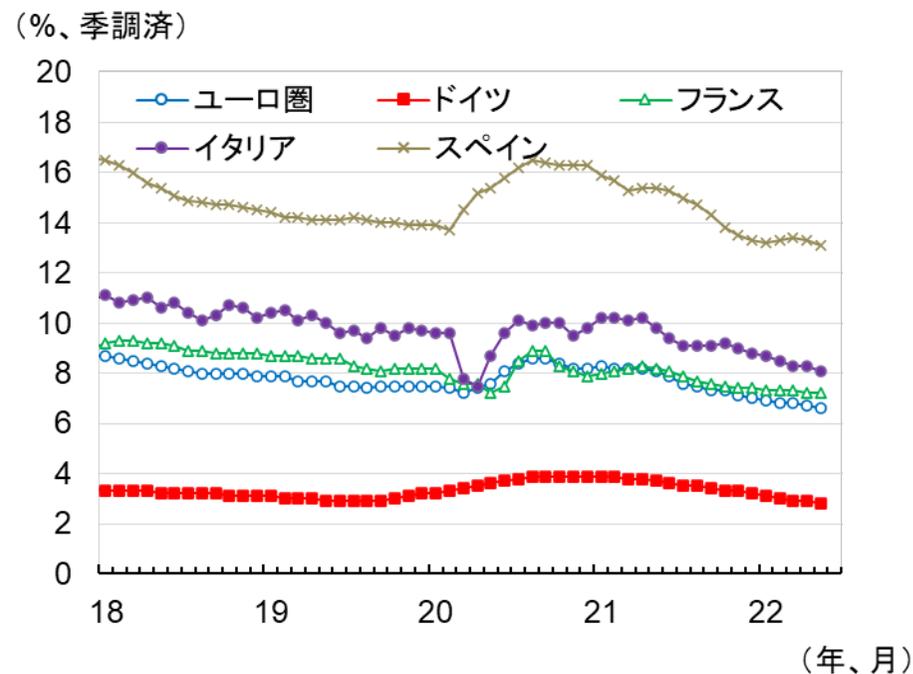
ユーロ圏の5月の雇用統計では、失業率が6.6%と2ヶ月連続で低下し、失業者数も前月比8.1万人減と減少が続くなど、雇用情勢は改善している。主要国別に失業率を見ても、緩やかな低下が続いている。

### 失業率と失業者数



(出所)ユーロスタット

### 主要国別失業率

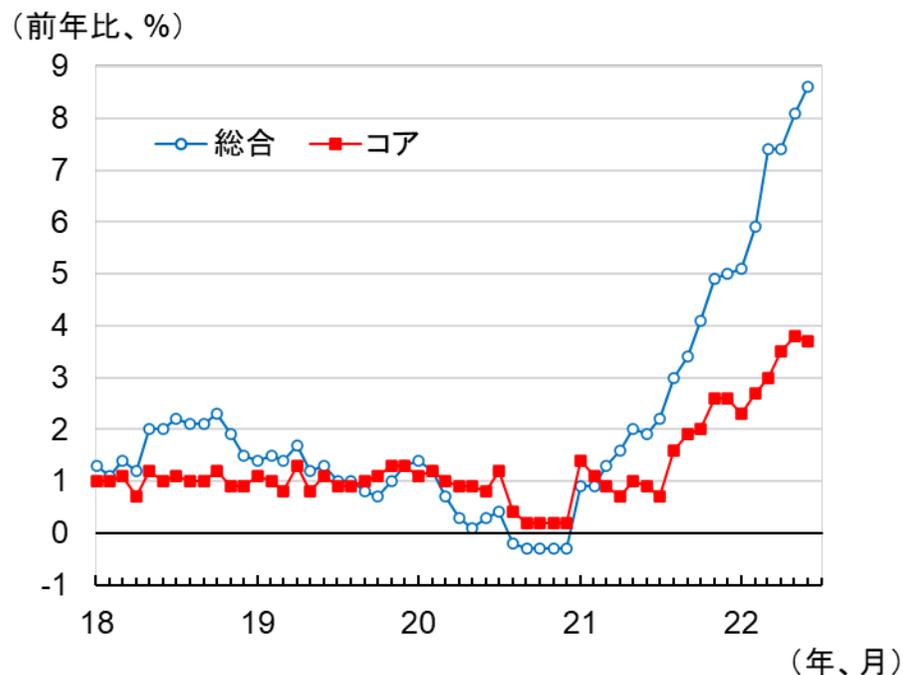


(出所)ユーロスタット

## ユーロ圏景気概況⑤ 物価はインフレが加速

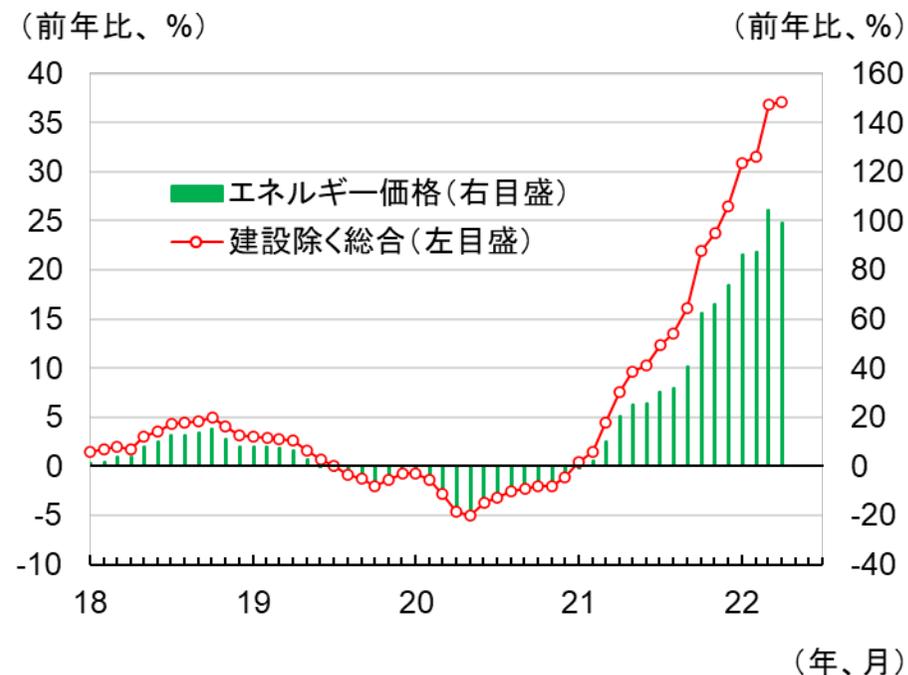
ユーロ圏の6月の消費者物価は前年比+8.6%と、インフレが加速した。先行指標である生産者物価（建設を除くベース）は4月時点で前年比+37.2%と、3月（+36.9%）から小幅な伸びの加速に留まった。うちエネルギー価格は+99.2%と前月（同+104.1%）から伸び率が低下した。

### 消費者物価



(出所)ユーロスタット

### 生産者物価



(出所)ユーロスタット

## ユーロ圏景気概況⑥ ECBは7月にも利上げを実施

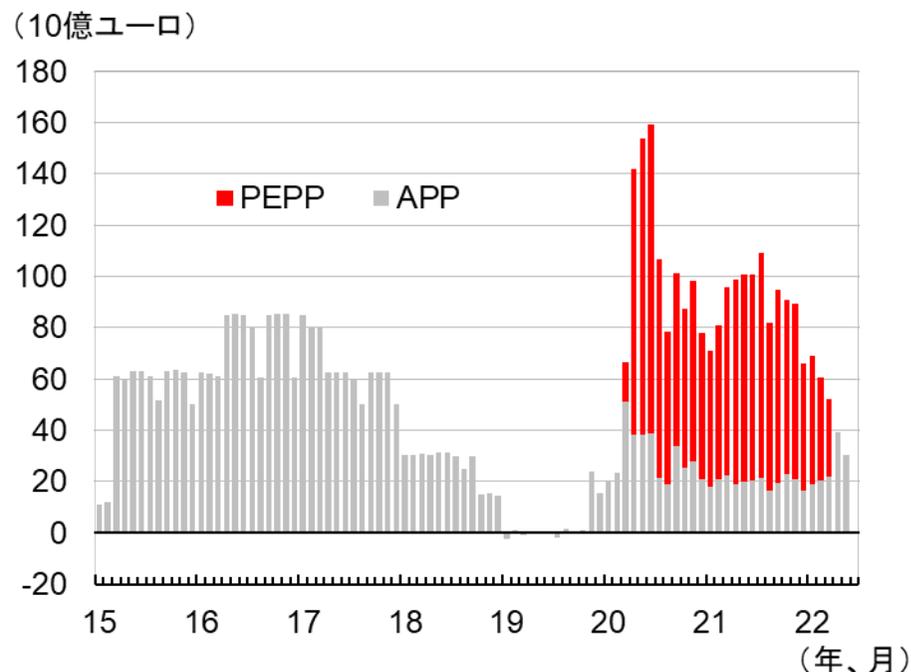
欧州中央銀行(ECB)は6月9日に定例理事会を開催、異例となる事前の利上げ通告(7月21日理事会で0.25%ポイントの利上げ、インフレ次第で9月8日理事会で0.50%ポイント超の追加利上げ)を行った。またAPPを7月1日に終了すると決定した。その後南欧諸国の金利急騰を受けて6月15日にも臨時理事会を開催、PEPP再投資の柔軟化を決定した。

### ECBの金融緩和パッケージ

内容	2022年6月理事会	2022年3月理事会
政策金利	7月に0.25%ポイントの利上げを明言 9月に0.50%ポイント超の追加利上げの可能性に言及	据え置き 上限金利 +0.25% 主要金利 0.00% 下限金利 ▲0.50%
資産購入プログラム (APP)	7月1日の終了を明言 再投資は金融環境の安定が確認された後に終了	4月に400億ユーロ 5月に300億ユーロ 6月以降は200億ユーロ 早ければ7~9月に終了も
パンデミック緊急購入プログラム (PEPP)	2024年末まで再投資を継続 6月15日の臨時理事会で再投資の柔軟化に言及	2024年末まで再投資を継続
TLTRO3	右同	終了済
ユーロシステムレポファシリティ (EUREP)	右同	2023年1月15日まで延長

(出所) 欧州中央銀行(ECB)

### 資産購入の推移

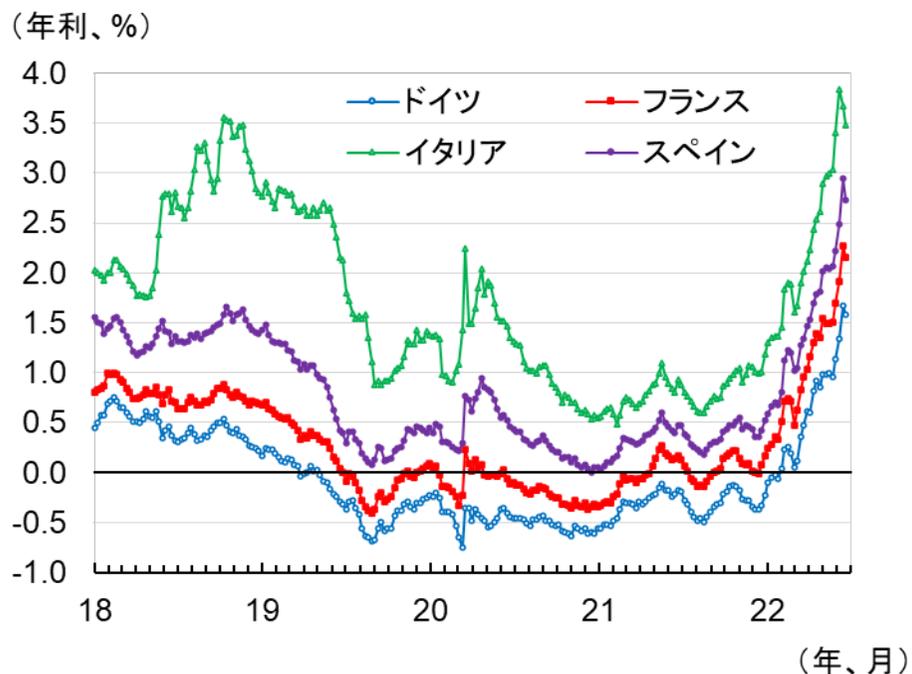


(出所) ECB

## ユーロ圏景気概況⑦ 金利は上昇後に低下、株価は下落

6月のユーロ圏の長期金利は上昇後に低下。月前半はECBの利上げ発言を受けて金利が上昇したが、月後半は景気減速への懸念から金利が低下した。一方で株価は下落した。米国発の株安の流れに加えて、ECBの利上げ確約や景気減速への懸念が相場の下押し圧力になった。

### 長期金利



(出所)ECB

### 株価(Eurostoxx50)



(出所)STOXX

## ユーロ圏景気概況⑧ ユーロは対ドルで下落、対円で上昇

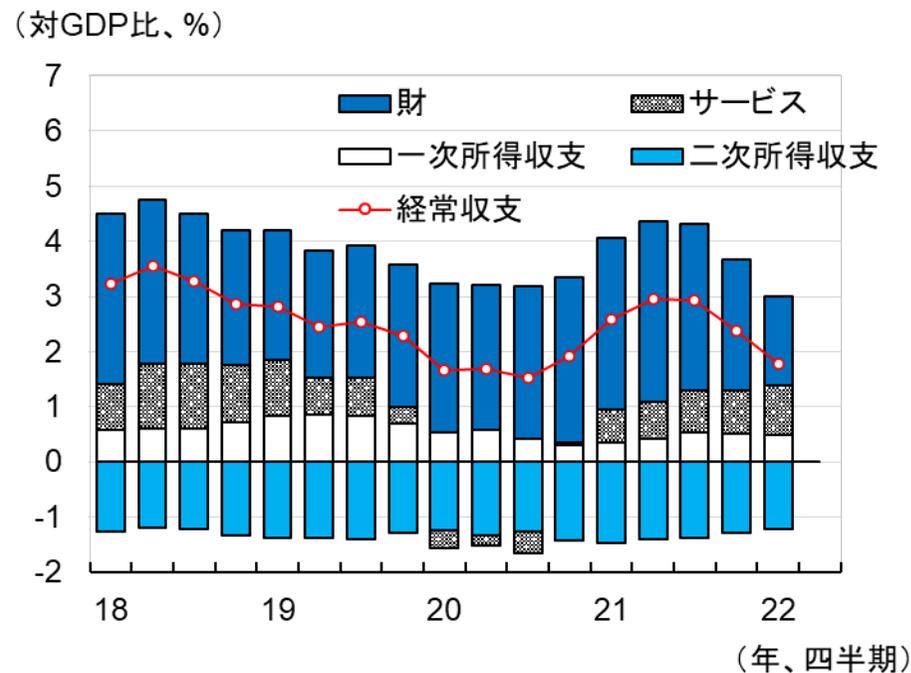
6月のユーロ相場は対ドルで下落、対円で上昇。米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを進める一方で、ECBが利上げに出遅れているため、対ドルではユーロが下落した。対円では、ECBの方が日銀より利上げが早い分、ユーロが上昇した。経常収支は財貿易収支の黒字幅が徐々に縮小しており、実需面からのユーロ買い圧力は弱まっている。

### ユーロ相場



(注)週次レート  
(出所)ECB

### 国際収支



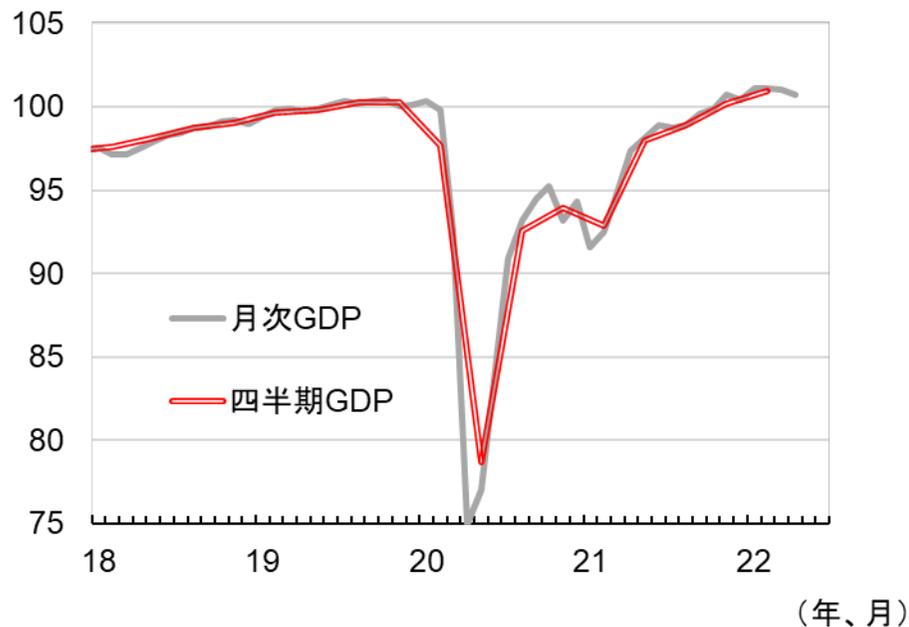
(出所)ECB

# 英国景気概況① 景気は回復している

英国の1-3月期の実質GDPは前期比+0.8%と、昨年10-12月期(同+1.3%)から伸びが鈍化した。産業別には、工業が伸びを加速させたが、反面でサービス業の伸びが鈍化した。また4月の月次実質GDPは前月比-0.3%と2ヶ月連続で減少した。

### 実質GDP

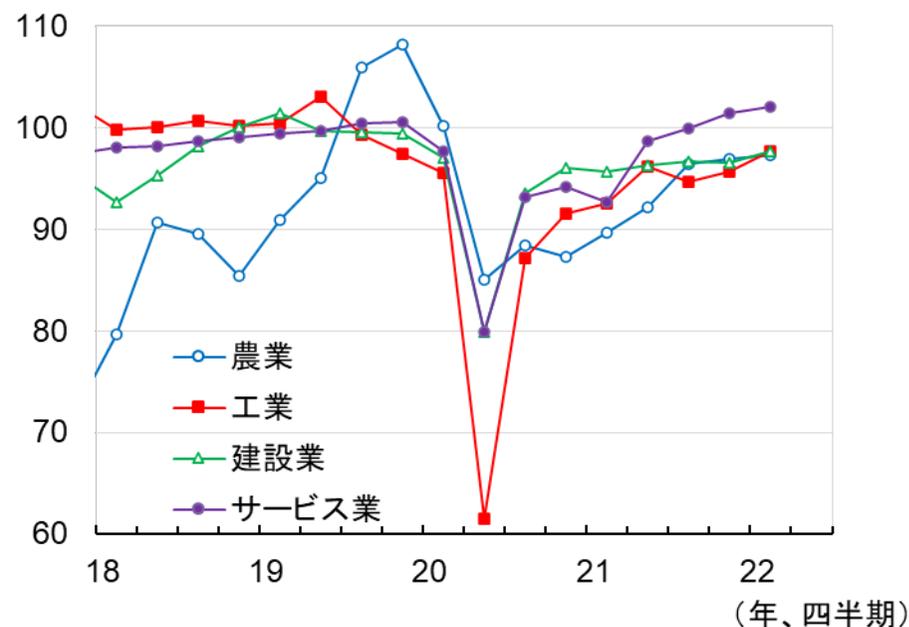
(2019年=100、季調済)



(出所)英国立統計局(ONS)

### 実質GVA(粗付加価値)

(2019年=100、季調済)

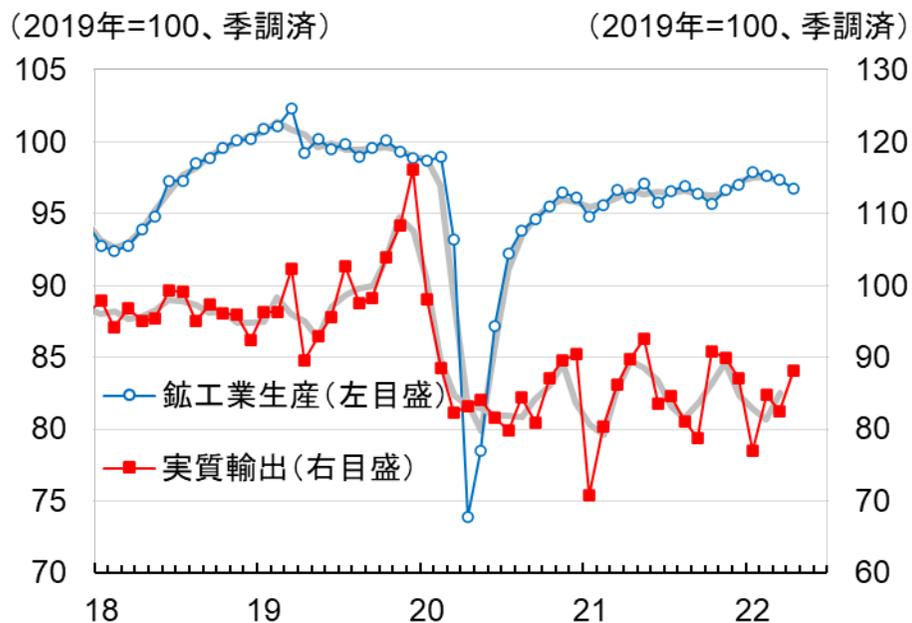


(出所)ONS

## 英国景気概況② 生産は足踏み

英国の4月の鉱工業生産は前月比-0.6%と3ヶ月連続で減少、均した動きは下向きに転じた。一方で、同月の実質輸出は同+7.1%と再び増加したが、均した動きは横ばい圏で推移。また4月のサービス生産は前月比-0.2%と2ヶ月連続で減少が続き、均した動きも下向きになった。

### 生産と輸出



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ONS

### サービス業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ONS

## 英国景気概況③ 消費は低迷

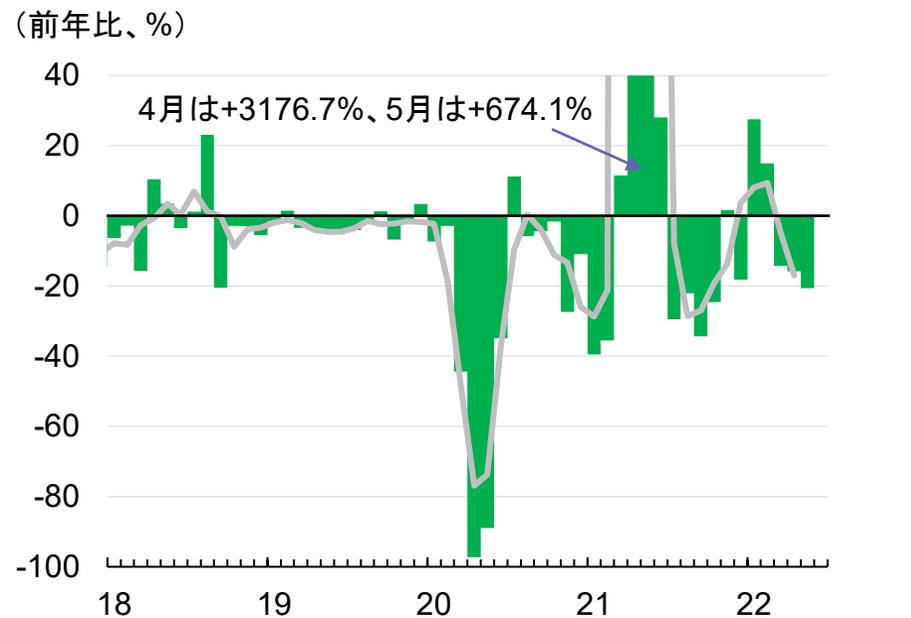
英国の5月の小売数量(除く石油)は前月比-0.7%と再び減少、均した動きも下向きとなった。一方で、同月の新車販売台数(乗用車)は前年比-20.6%(12.4万台)と2ヶ月連続でマイナス幅が拡大、均した動きも前年割れが定着している。ロシアのウクライナ侵攻に伴うサプライチェーンの混乱の影響を受けた模様。

### 小売数量(除く石油)



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ONS

### 新車販売台数(乗用車)

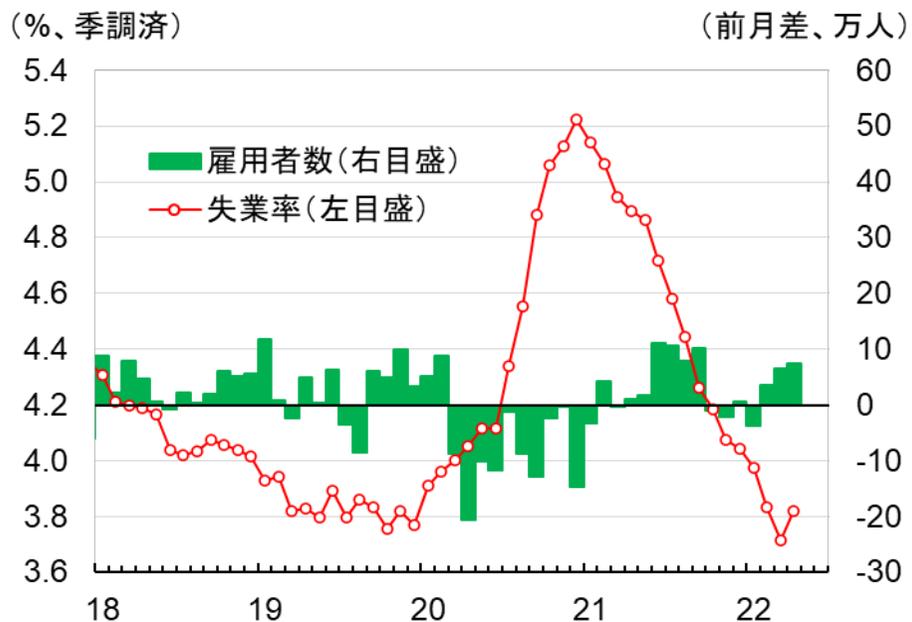


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ONS

## 英国景気概況④ 雇用は改善

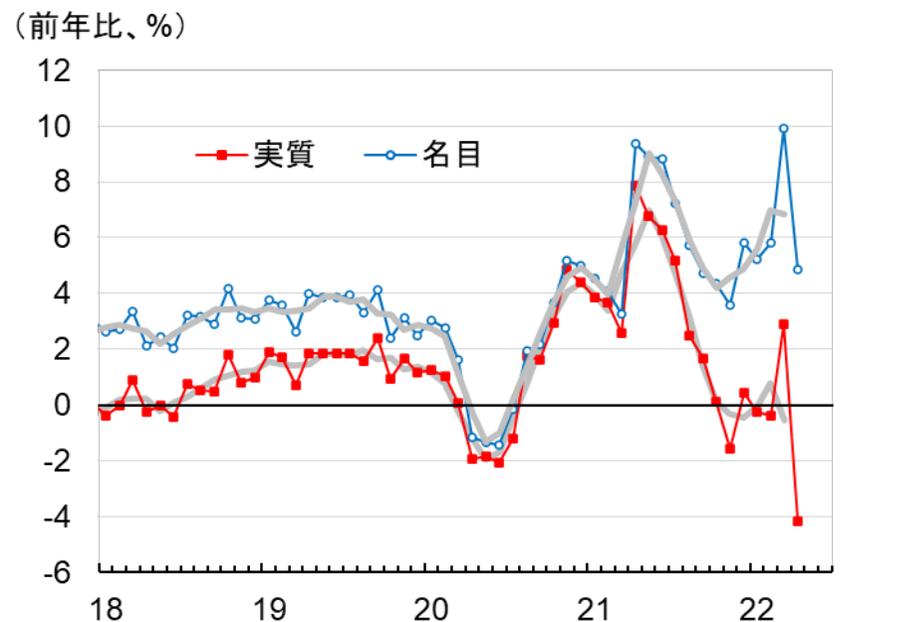
英国の4月の雇用統計(3ヶ月後方移動平均)では、失業率が3.8%に上昇した一方で、雇用者数は前月比7.5万人増と増加が続いており、雇用情勢は改善している。均して見た賃金の増勢は名目ベースでは伸びが一服した一方、消費者物価で実質化した実質ベースではマイナス圏に転じた。

### 雇用統計



(注) 3ヶ月間の平均値  
(出所)ONS

### 平均賃金(週給)

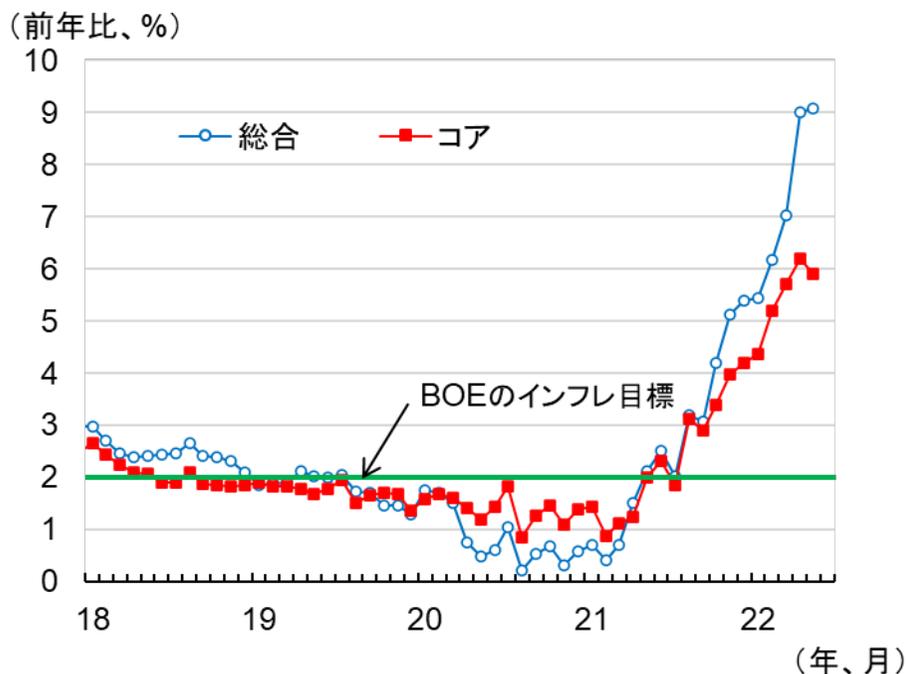


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ONS

## 英国景気概況⑤ 物価はインフレが加速

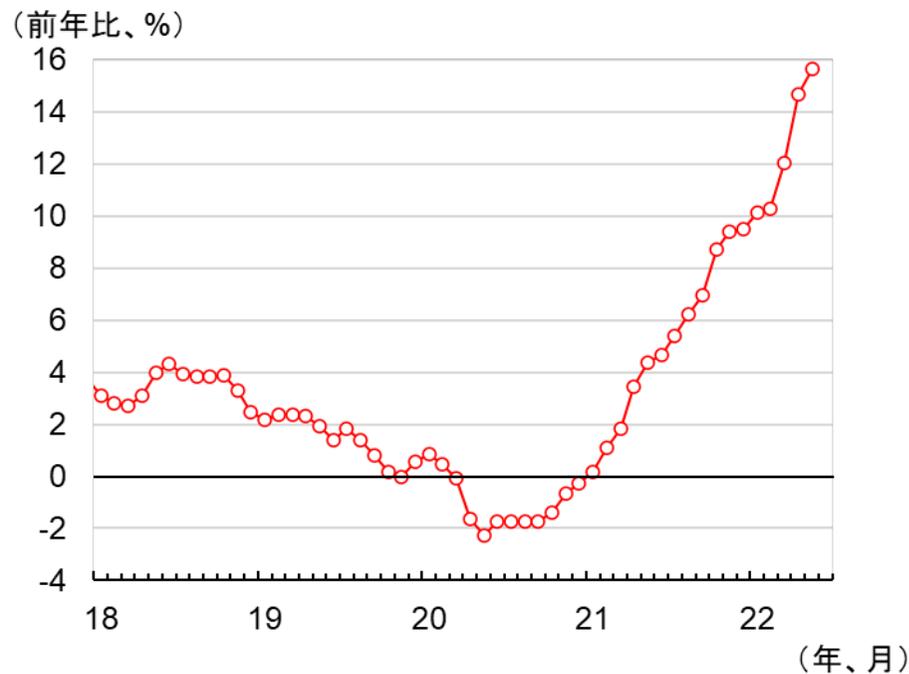
英国の5月の消費者物価は総合指数ベースで前年比+9.1%と、イングランド銀行(BOE、中央銀行)のインフレ目標を大きく上回っている。同月の生産者物価も同+15.6%と伸び幅の拡大が続いており、今後もインフレが加速する可能性を示唆。

### 消費者物価



(出所)ONS

### 生産者物価(投入価格、除く関税)

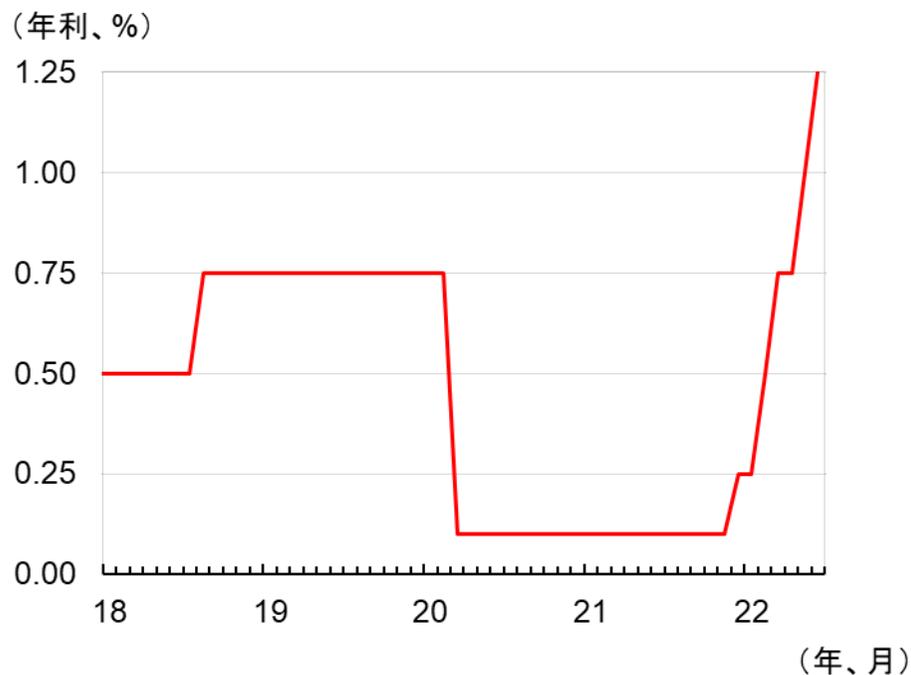


(出所)ONS

## 英国景気概況⑥ BOEは追加利上げを実施

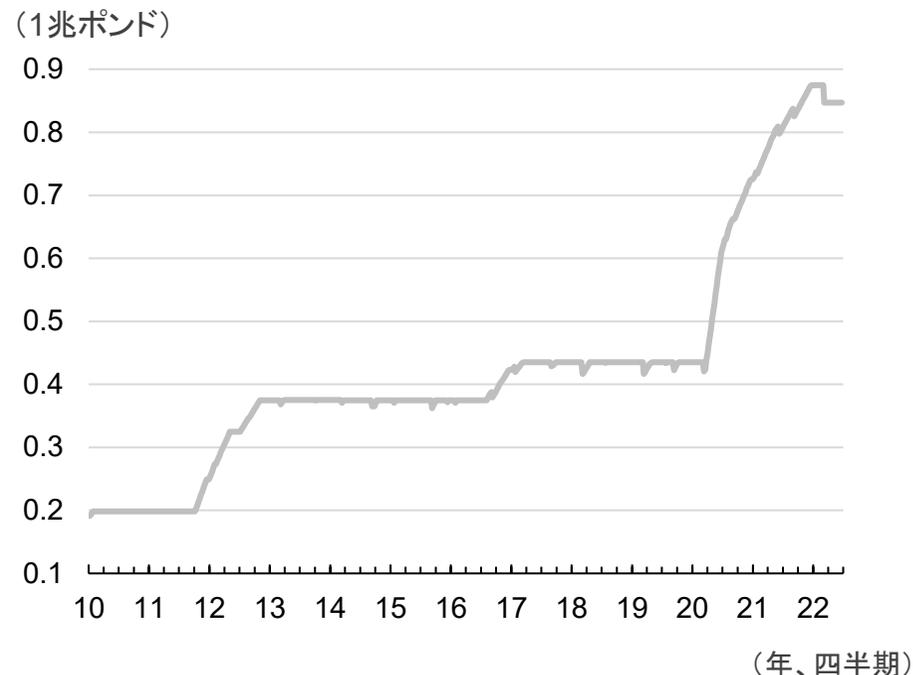
イングランド銀行(BOE)は6月16日に金融政策委員会(MPC)を開催、政策金利を1%から1.25%に引き上げた。またBOEは保有国債の売却計画の策定に着手し、次回8月4日の会合で示した上で、その後の会合で売却を開始するか決定するとしている。

### 政策金利(バンクレート)



(出所)イングランド銀行(BOE)

### 英中銀の国債保有高

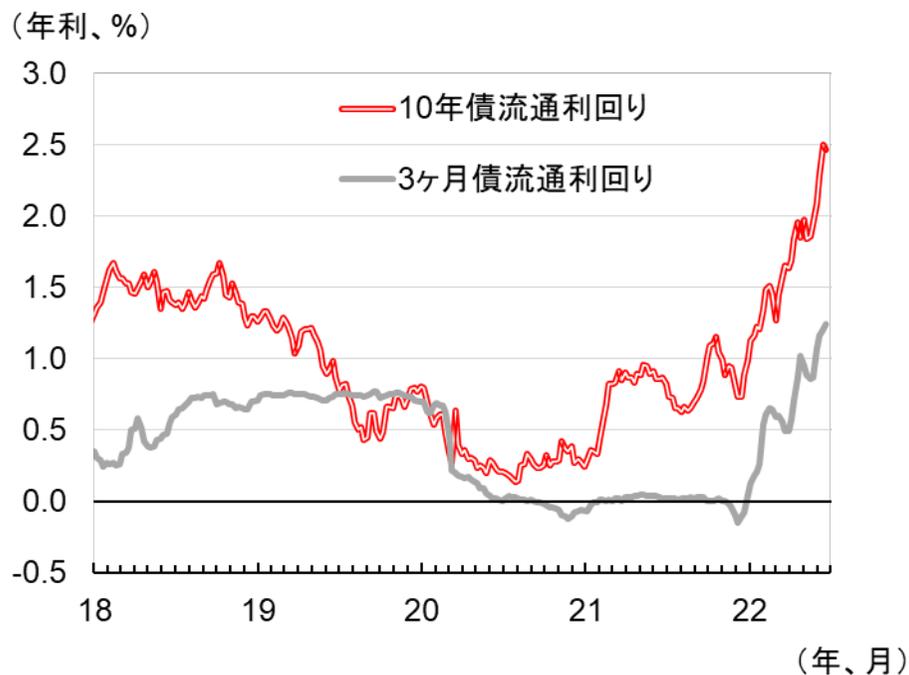


(出所)BOE

## 英国景気概況⑦ 金利は上昇、株価は下落後に上昇

6月の英国の長期金利は上昇。BOEの追加利上げや世界的な金利上昇の波を受けて長期金利は上昇した。一方で、6月の株価は下落した。BOEの追加利上げや世界的な株安の流れが英国株を下押しした。

### 金利



(出所)BOE

### 株価 (FT100指数)



(出所)BOE

## 英国景気概況⑧ 対ドルで下落、対円で上昇

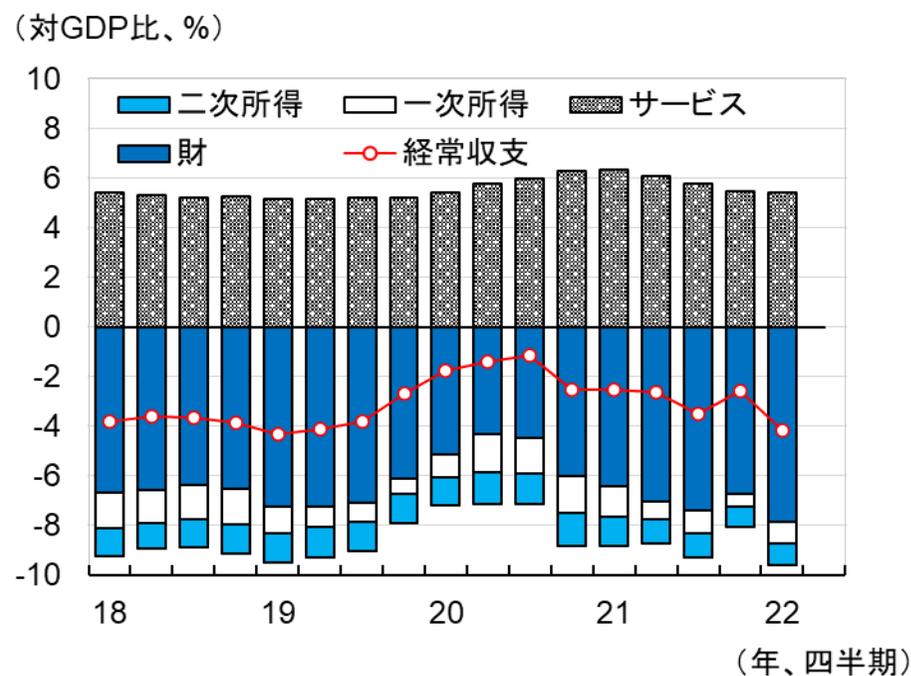
6月のポンド相場は対ドルで下落、対円で上昇した。対ドルでは米国との金利差の拡大を受けてポンドが下落した。対円では英BOEが追加利上げを実施する一方で、日銀が金利を据え置いたことからポンドが上昇した。国際収支は、経常収支が赤字を拡大させており、実需面からのポンド買い支え圧力は弱い。

### ポンド相場



(注) 週次レート  
(出所) BOE

### 国際収支



(出所) ONS

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 土田陽介 TEL:03-6733-1628 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください